

2023年度 第6回 広報部・部会 議事録

日 時 : 2023年4月16日(日)
場 所 : 青少年センター 多目的室
司 会 : 大久保副部長
参加人数 : センター13名

◆佐藤部長あいさつ

21期一年目ご協力ありがとうございました。一年間体験していただいて、大体の流れ等把握していただいたと思います。今年度は、皆様にも少しずつ一緒に活動していただきたいな！ということ、と、昨年度の反省もふまえて、今年はこんなことやろう！など検討しながら皆さんと少しずつ役割分担して、広報部員みんなで楽しく活動出来たらいいな♪とっております。ご協力よろしくお願いたします。

1・連絡事項(佐藤部長)

①青少年センターの利用について：青少年センターの建て直しのため、2023年9月まで利用可能、10月末引っ越し

→広報部の備品整理、不要すくらむ等 廃棄が必要

9月頃になりましたら、お片付け等のお手伝いの募集をしたいと思います。

②こどものつどい：2024年2月上旬開催予定(手賀の丘青少年自然の家)

→3月中旬までにすくらむ発行(予算執行の関係上)

③60周年対応：実行委員会式典2023年11月11日 開催

→60周年記念誌を発行(相談員内部に配布)

2・昨年からの継続課題 (佐藤部長)

・予備のすくらむについて(約3000部くらい)

→今発注している印刷会社だと3万を超えると5000部ずつの単位での発注のため

現在3000部程余っている。有効に使えないか…幼稚園に配布?等昨年出ていましたが今年度決めていきたい。

・HPの更新、すくらむ作成マニュアル

→昨年度きちんとしたマニュアルを周知出来なかったため、堅苦しくならない範囲でマニュアルの周知をしていきたいと思っております。

・広報活動のすくらむの作成目的や読者対象者の整理

→そもそも論になるが、だれに?何のために?発行してるの?と素朴な質問をされました。記事の構成・重み付けなど、共通目線になっていないので、方向性をまとめたいと思っております。

・昨年の中で良かったなと思う事が2点ありました…

→昨年最初の会議で、すくらむに学区活動の今後の予定を載せて欲しい!という事で載せた結果、問い合わせも多数あり、参加していただけているので今後も継続していきたい。

→すくらむを見て、楽しそう!相談員をやりたい!と前向きに応募して下さった方が今年度から仲間入りしました!

相談員は定員が 180 名と決まっているので、どんどん参加してください！とは出来ませんが…都合があって辞められた方もいるので、まずは、すくらむが目にとまって、興味をもってもらうことが重要だと認識しました。

3・各学区の活動確認（各学区発表）

総会でも発表されましたが、だいぶ活動も戻ってきている様です。新しい活動も増える様なので、各学区の活動もまとめていきたいと思います。

→とりまとめをどなたに担当していただきたいと思っています。

4・協議事項

① 今年度の具体的活動の相談と協議（佐藤部長）

活動の方向性を決めるにあたり

■ 柏市青少年相談員連絡協議会会則施行に関する規約 広報部活動

(ア) 広報誌の発行に関すること

(イ) 青少年の意識調査及び統計に関すること

(ウ) 青少年相談員の啓蒙に関すること

と、あるのですが（イ）（ウ）の具体的な内容がちょっと私自身もわかっていないです

佐藤なりに 21 期、活動の方向性を考えてみました。

① 広報：相談員活動をオフィシャルに PR

→オフィシャルに発行されている事を強みにルールに基づいて『すくらむ』を発行していく。

② 幸報：紙面の都合で『すくらむ』掲載が叶わなかった子ども達の笑顔や相談員の姿を PR

→HP に随時更新・ほかにも方法はないかな??

③ 後方：相談員同士のコミュニケーションの活性化。相談員募集の支援。

広報スキルの向上。

→相談員名鑑。ほかにもないか？

② 具体的活動を実施すべきか協議・相談（佐藤部長）

過去の広報部の活動やジャストアイデアをまずは以下に記載しました。

各活動案について、皆さんとまずどんなことを活動していくのかを相談し、活動方針がまとまった段階で役割分担を決めさせていただきたいと思っています。

具体的活動	責任者・編集長	担当者	担当者
①すくらむ(夏つど号・9月発行)	大久保さん		
①すくらむ(60周年・12月発行)			
①すくらむ(こどつど号・3月発行)	高橋(宗)さん		

①作成マニュアル更新・学校配布部数の確認			
①他市相談員の活動紹介			
②各市の広報課や地域新聞、Jcom、千葉テレビとの連携			
②HP更新(各学区活動)	各学区広報部員		
②HP更新(夏つど)	すくらむ編集長		
②HP更新(60周年)	すくらむ編集長		
②HP更新(こどつど)	すくらむ編集長		
②HP更新や写真データ加工・講習	吉原さん		
③写真の撮り方・講習	吉原さん		
③魅力的なチラシの作り方・アドバイス	吉原さん		
③相談員名鑑更新	高橋(裕)さん		
③相談員募集の支援・学区活動の確認			

※部員の方には何かしらを担当していただきたいと思っています

- ②各市の広報課や地域新聞、Jcom、千葉テレビとの連携…とあるが、今どきの子どもたちへの訴求力は低い。SNSの有効活用は出来ないのか??
- そもそも『すくらむ』は紙媒体でいいのか??
InstagramやTwitterなどのSNS、また応募いただいたメールアドレスに告知メールを配信する??なども検討すべき。
一般的にチラシを100枚配って10人募集があれば上出来と言われている。35,000部配布して、どのくらいの影響があるかは確認すべき。
- 60周年記念にすくらむ発行とあるが、何を目的にするか?をはっきりさせないといけないのではないか。こどつど号に少し枠を設けるのではダメなのか??
相談員の募集や宣伝に重点を置くなら、募集チラシが既存のものがあるのに必要か?
- 『すくらむ』にイベントの提案をしてもらうのはどうか??
写真家さんや、陶芸家さんなど個人でやられている方で、こんなことができますよ!や出張できますよ!という募集を載せられないか?それが出来たら学区活動がもっと盛んに開催できるのではないか??
- すくらむの余った冊子は市立中学に配布はできないか??

誰が配布の担当をするのか？等 今後要協議

- ▶ 各学区、いろんな活動をしているが、どのイベントが人気で、倍率はどれくらいなのか？？ また、この学区では人気がないが、他では人気がある！など…地域によって違いはあるのか？（柏の葉はほとんどのイベントの募集5分以内で、応募者数が上限を超える。イベントに飢えている）
イベントの告知方法や募集の仕方など…一度統計をとるのはどうか？？
- ▶ イベントはやるからには、多数の人に参加してもらおうほうが良いに決まっている。自己満足ではダメ。より良い告知方法を考えるべき。
- ▶ テレビなどで取り上げてもらうのも告知としてはアリだが、誰を対象にするのか？によっては意味が無い可能性もあるので、今の時代のニーズに合った方法で少しずつ我々相談員も変化する必要があるのではないか？？
- ▶ 私たちもそうだが、相談員になるまで『相談員』という存在を知らなかったので周知方法をもっと積極的に変えるべきでは？

5・直近の対応お願い事項

✓本年度の各学区すくらむ配布数の聞き取り

→5月1日以降で中学校(児童数)・小学校(家庭数)の聞き取りをして、報告とりまとめをどなたか担当していただきたいと思います

✓相談員名鑑…学区ごとの集約

→新たに追加したい！など更新の受付、また今年度入られた方を名鑑に新規追加各学区でまとめて高橋裕馬氏に報告。

6・専門部会・各学区の活動の確認

【夏のつどい部】 5月20日 第1回夜間下見
6月10日 第2回夜間下見
7月 9日 全体会
7月15日 第3回夜間下見

【研修部】 6月 ヘルスバレー予定

7・今後の広報部会

23年6月 … 今後の活動内容の方向性、担当者案協議

93号夏つどの構成

8月 … 93号夏つど号の最終案協議

11月 … 94号60周年号の最終案協議

24年3月 … 95号こどつど号の最終案協議

その他 … 上記の間に各分科会開催